

証券コード:7472

“百年の信頼を、未来につなげる”

株式会社鳥羽洋行

会社説明会

2019年9月9日(月)



株式会社 鳥羽洋行

- ◆ 積極的な株主還元
配当方針、株主優待制度
- ◆ 生産設備の専門商社
- ◆ 独自の営業体制
- ◆ 創業 1 1 0 年企業

積極的な株主還元（株価・配当情報）

9/6（金）の株価・配当金予想

終値（9/6） **2,811円**

今期の配当金予想 **120円**

予想配当利回り **4.27%**

積極的な株主還元（株主優待）

●株主優待は「クオ・カード」を採用しています



対象株主	単年度	継続保有3年以上
1,000株以上	3,000円	6,000円
100株以上1,000株未満	1,000円	2,000円

＜クオ・カードの代金の一部は、「緑の募金」へ寄付されます。＞

株主優待の割当基準日は、毎年9月末日です。

生産設備の専門商社



私たちの生活を取り巻くあらゆるモノが
工場で作られています。



生産設備の専門商社 (取扱商品例)

制御機器



エアシリンダー



バルブ



センサー

F A 機器



産業用ロボット



マウンター (実装機)



レーザー溶接機

産業機器



電動ドライバー



ベルトコンベア



電気チェーンブロック

当社独自の営業体制

1. 販売体制

- ・ メーカー様より直接仕入、ユーザー様へ直接販売

2. 卓越した専門スキル

- ・ 各種 S E 資格の取得 ⇒ メーカー代行営業

3. 国内外に広がる販売ネットワーク

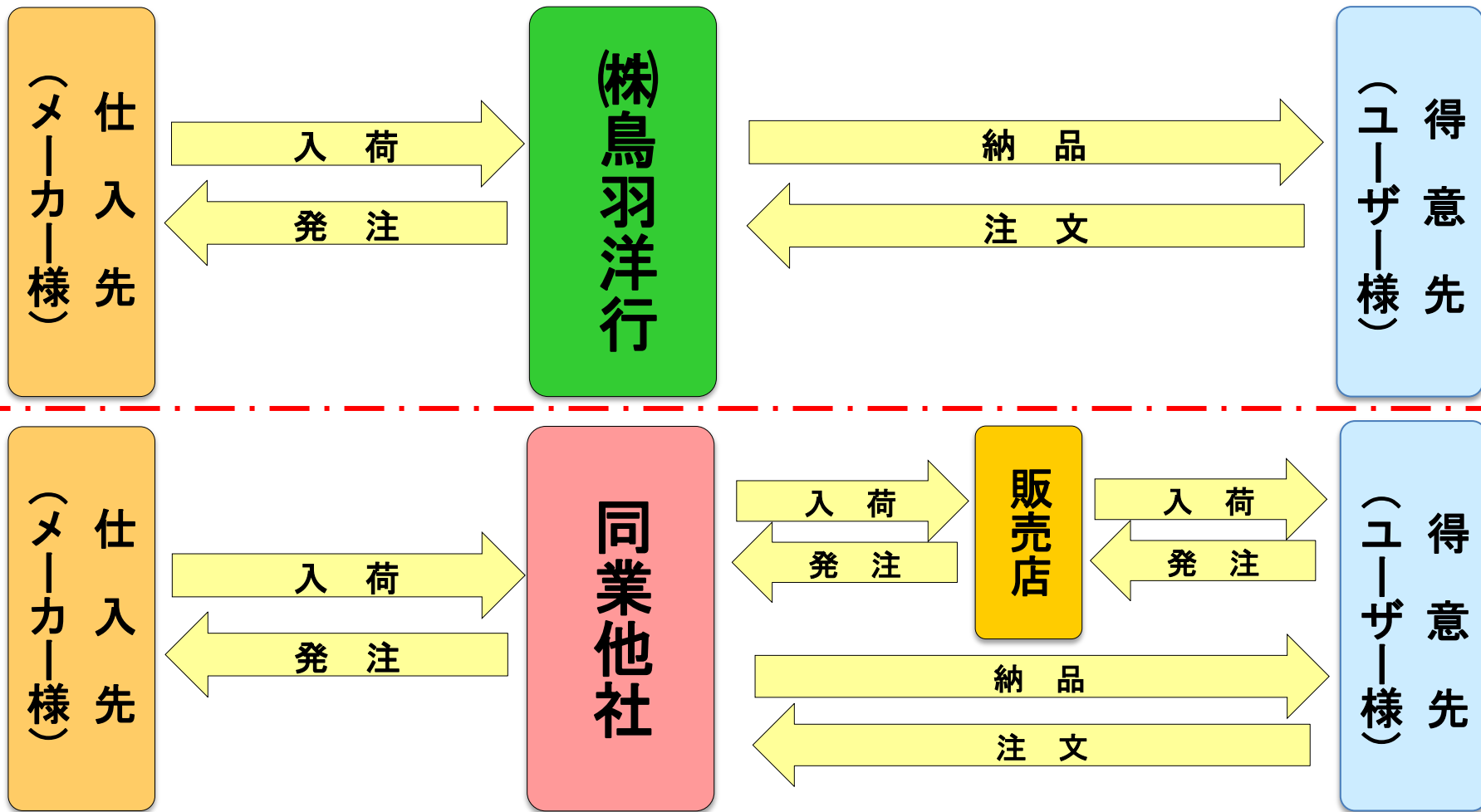
- ・ 国内22箇所、海外3カ国 5 拠点

4. 強固な顧客基盤

- ・ 幅広い業種の代表的な企業と取引

1. 販売体制 (ビジネススタイル)

- ・ ユーザー様は当社に依頼することで生産コストの低減と高品質化を実現
- ・ 『直接仕入』 ⇒ 仕入先様から直接製品を購入
- ・ 『直接販売』 ⇒ 得意先様に直接訪問し販売



3. 国内外に広がる販売ネットワーク

海外3カ国5拠点

(同公司) 蘇州分公司

鳥羽(上海)貿易有限公司

(同公司) 深圳分公司

TOBA, INC. (ベトナム・ハノイ)

中国

台湾

ラオス

タイ

ベトナム

カンボジア

TOBA (THAILAND) CO.,LTD.

国内22拠点

会社概要

- 社 名：株式会社鳥羽洋行（TOBA,INC.）
- 本 社：東京都文京区水道二丁目8番6号
- 創 業：1906年（明治39年）
- 設 立：1949年（昭和24年）
- 資 本 金：11億4,800万円
- 従業員数：【連結】243人・【単体】214人
- 販売拠点：国内22拠点・海外3カ国5拠点
- 上場市場：東京証券取引所JASDAQスタンダード
- 証券コード：7472

※従業員数は、2019年3月31日現在です。

沿革



創業者である鳥羽真作は、中国（大連市）にて、南満州鉄道を主たる取引先として創業

昭和40年代以降は、省力化・自動化機器（FA機器）を中心に販売展開
"FA プランナー TOBA"



昭和30年～40年代
空気圧機器中心に販売展開
"空圧のTOBA"



1906年9月 創業
中国（大連市）



(旧銀座本社及び二代目社長: 鳥羽実)

1949年12月 設立
中央区（銀座）

1995年11月
JASDAQに上場

1998年9月
文京区に本社移転

2006年8月
本社 新社屋完成

2008年12月
鳥羽(上海) 貿易有限公司設立

2012年5月
TOBA (THAILAND) CO.,LTD.設立

2014年7月
TOBA,INC.ハノイ駐在員事務所設立

創業より110年以上、国内外のモノづくりに貢献してまいりました。



(現在の鳥羽洋行本社)



企業理念

信用第一主義

社是

- 1 当社は社会人類に貢献するためにある
- 2 当社は社員の向上と幸福を計るためにある
- 3 当社は最大ならずとも最良の会社たることを期する
- 4 当社は明朗、勤勉、練達の社員のみをもって結成する
- 5 当社は何事にも無理なく、堅実に、しかも進取、独創、能率的に経営し、信用を第一におく

2020年3月期第1四半期業績①

< 2020年3月期第1四半期 連結損益計算書の概要 >

(単位：百万円)

	19/3月期 第1四半期	20/3月期 第1四半期	前期比 (増減率)	備 考
売 上 高	7,066	6,249	△11.6%	・米中貿易摩擦の影響により中国子会社の業績悪化 ・半導体市場の成長鈍化の影響を受ける
営 業 利 益	467	297	△36.4%	
営 業 利 益 率	6.6%	4.8%	1.8P減	
経 常 利 益	507	343	△32.4%	
経 常 利 益 率	7.2%	5.5%	1.7P減	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	348	232	△33.2%	
四半期純利益率	4.9%	3.7%	1.2P減	

2020年3月期第1四半期業績②

<2020年3月期第1四半期 連結貸借対照表の概要>

(単位：百万円)

	19/3月末	構成比 (%)	19/6月末	構成比 (%)	備 考
流動資産	22,163	81.3	21,263	80.6	
現金・預金	10,712	39.3	10,624	40.3	
受取手形・売掛金 ※1	11,309	41.5	10,439	39.6	
商品	97	0.4	142	0.5	
固定資産	5,113	18.7	5,121	19.4	
資産合計	27,277	100.0	26,384	100.0	
流動負債	9,898	36.3	9,231	35.0	
支払手形・買掛金 ※2	9,057	33.2	8,716	33.0	
固定負債	314	1.2	358	1.4	
負債合計	10,213	37.4	9,590	36.3	
純資産合計	17,064	62.6	16,793	63.7	
負債純資産合計	27,277	100.0	26,384	100.0	

(※1) 電子記録債権を含む

(※2) 電子記録債務を含む

<国内>

◆半導体・電子部品市場の動向

- ・半導体市況の悪化
- ・自動車・車載部品関連の設備投資需要は堅調
- ・スマートフォン関連の設備投資は鈍化
- ・2020年サービス開始の5G向け投資に期待

◆産業用ロボット需要の動向

- ・自動化、省人化ニーズは高い
- ・自動化機器の設備投資は堅調

<海外>

◆中国の設備投資が大きく変化

- ・米中貿易摩擦が激化し先行きが不透明
- ・生産地の移転（ASEAN等への流出）
- ・自動化機器の需要は今後も継続

今期の戦略について

◆ 既存得意先への拡販と新規得意先の開拓

- 当社**主要得意先**である半導体・液晶、電機、電子部品関連及び自動車・車載部品等への設備投資需要の取り込み
- 三品産業など**人手不足**を課題としている得意先への、ロボット、自動化・省力化機器の販売を積極的に展開
- **CBS25**（カービジネスシェア25%）
ADAS、AI、自動運転、EVなどCASE向け需要の取り込み
- 「**5G**」に関連する得意先の設備投資需要の取り込み
- 数年後の成長を見据えた **Eビジネス**の確立（出展商品の拡充など）

今期の戦略について

◆売上拡大施策

- ・当社主催『**複合展示会**』の開催により、販売商品アイテムの拡大
- ・**大型展示会**へ出展し新規優良顧客の獲得
 - ①**東京ビッグサイト**：『第2回自動化・省人化ロボット展』（2019年7月24～26日）⇒**開催済**
 - ②**インテックス大阪**：『第22回 [関西]機械要素技術展』（2019年10月2～4日）

◆新商材の発掘

- ・レーザー機器、ろ過機器（日本インテグリス）につづく新たな商材を発掘

◆海外拠点強化

- ・海外子会社との連携強化（情報共有し当社販売網の活用）

今期の活動

<第2回 自動化・省人化ロボット展 概要>

- 開催日時：2019年7月24日（水）～7月26日（金）10時～17時
- 会場：東京ビッグサイト
- 主催：一般社団法人日本能率協会



<今後の出展予定>

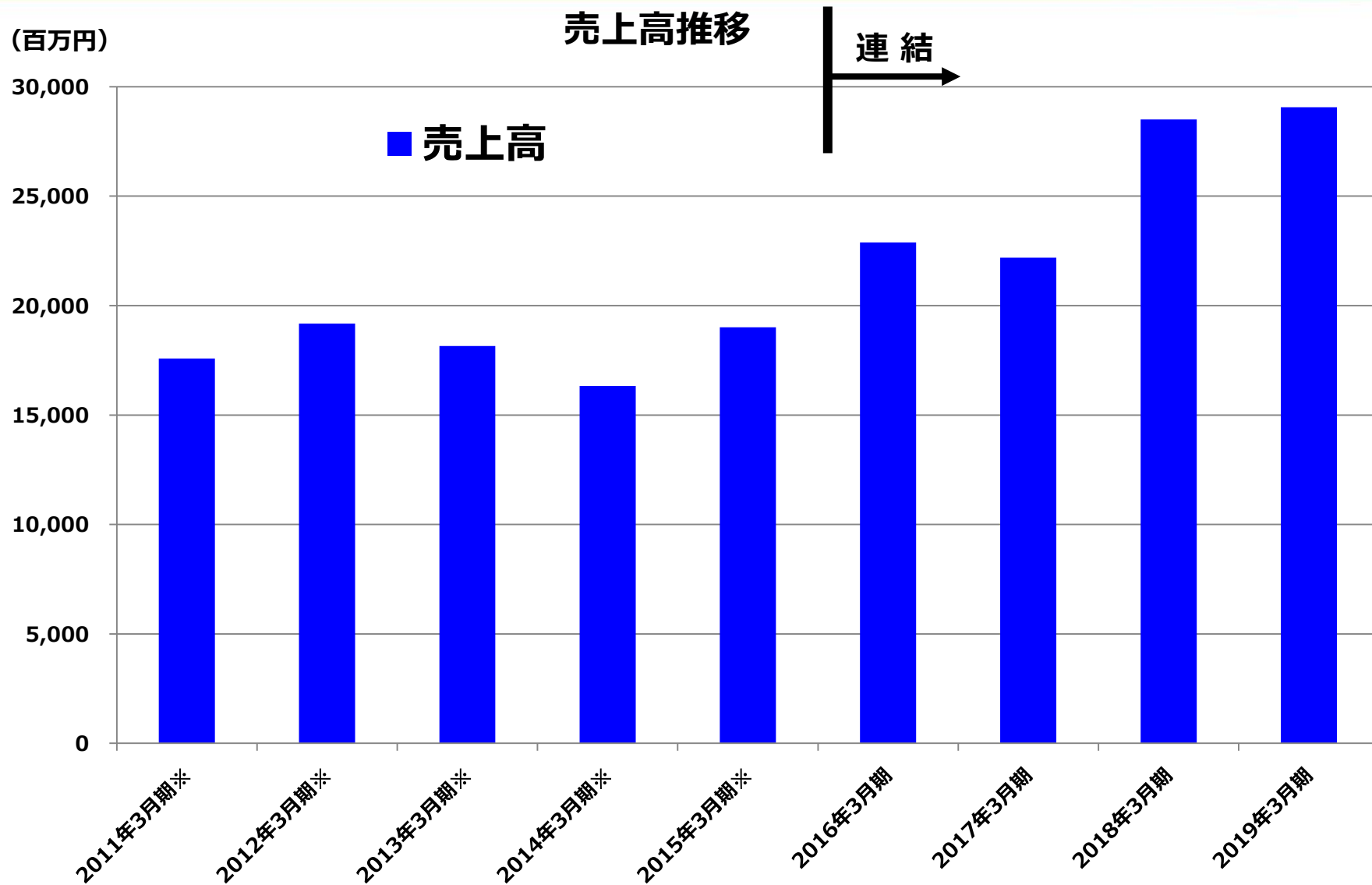
- 2019年10月2～4日：『第22回 [関西]機械要素技術展』（インテックス大阪）

2020年3月期の業績予想（連結）

（単位：百万円）

	19/3月期	20/3月期	
		通期予想	第1Q実績
売上高	29,066	29,500	6,249
営業利益	1,895	1,920	297
営業利益率	6.5%	6.5%	4.8%
経常利益	2,004	2,020	343
経常利益率	6.9%	6.8%	5.5%
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	1,370	1,400	232
当期(四半期)純利益率	4.7%	4.7%	3.7%

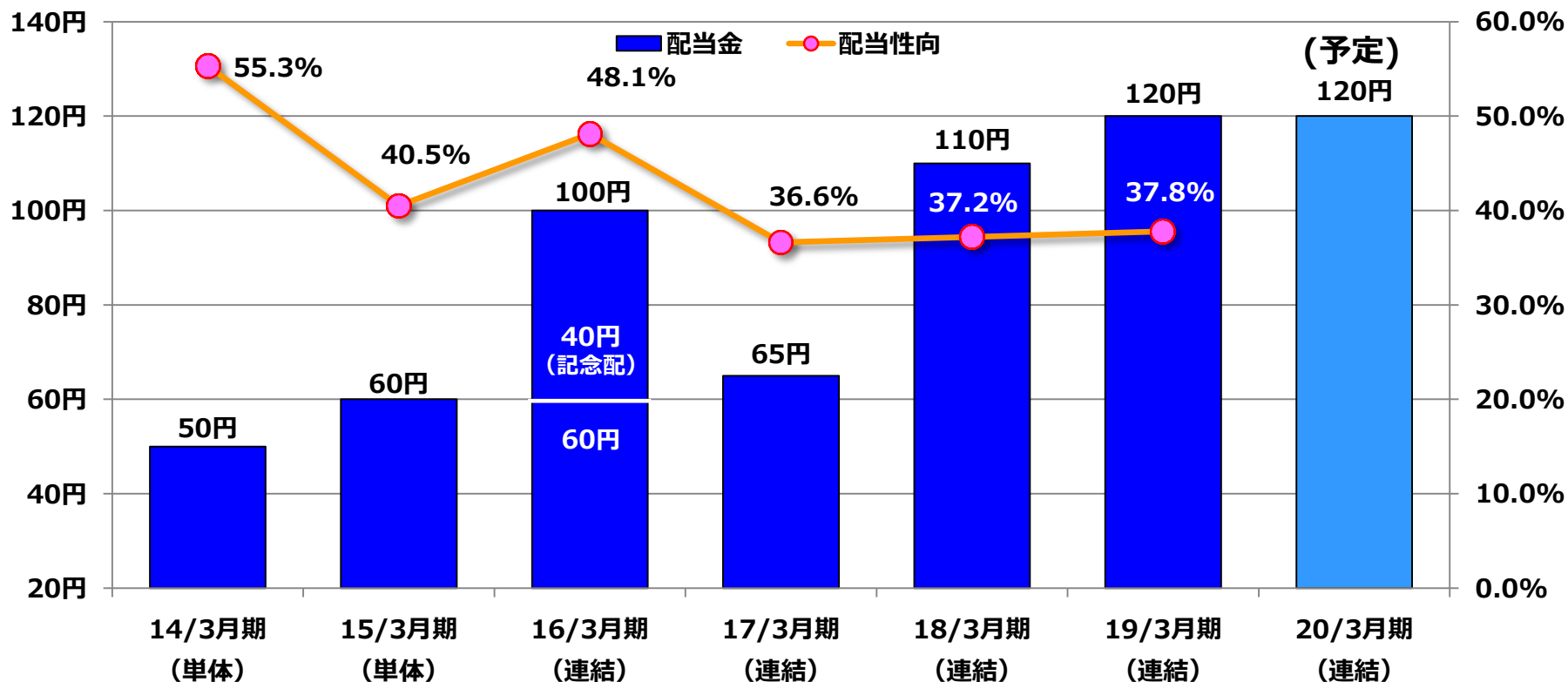
売上高推移グラフ



※2016年3月期から連結財務諸表を作成しているため、2015年3月期以前は単体の数値です。

株主様への還元

1株当たりの配当金及び配当性向の推移



※16/3月期については、創業110周年記念の記念配当金40円が含まれております。

※配当性向については、16/3月期より連結での数字で計算しております。

■ 株主還元方針

- 1株当たりの配当金 **40円** を下限
- 連結配当性向は **35%** 以上

株式会社鳥羽洋行

7472

この資料には、2019年9月6日現在における弊社の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競業状況等に関わるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

従いまして、その内容につきましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。また、本プレゼンテーションは、投資を勧める目的のものではございません。

[問い合わせ先]

株式会社 鳥羽洋行

管理本部総務グループ I R 担当

住 所：〒112-0005

東京都文京区水道 2 丁目 8 番 6 号

電話番号：03-3944-4031

F A X：03-3944-4091

E メール：kanri-01@toba.co.jp